

景観シミュレーション自己評価書

シミュレーションの距離帯		評価基準（考え方）	評価対象	基準のチェック	評価基準に対するコメント
遠景	<ul style="list-style-type: none"> ●背景との関係が読み取れる距離 ↓ 位置・規模を評価 <p>目安 1)1,000m程度 2)最大寸法 20倍 例) 高さ 50mの場合 距離 1,000m 程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●大景観と調和しているか（地域の景観の特徴との関係）。 ・景観形成基準や広域景観形成基準がある場合、景観形成の目標に適合しているか。 ・地域の景観の優れた特徴を乱していないか。 ・親しまれている眺望を妨げていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 位置 	✓	遠景から見える場所はあるが、道路から 30m 以上セットバックした配置とし、また雁行配置として景観との調和に配慮している。
			<ul style="list-style-type: none"> ② 規模 	✓	地域の景観を乱さないボリュームでの計画としている。
			<ul style="list-style-type: none"> ③ カーライン 	✓	山々稜線から飛び出さない高さとしている。
中景	<ul style="list-style-type: none"> ●建物の周辺の状況がわかる距離 ↓ 主要部位を評価 <p>目安 100~500m程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●中景観と調和しているか（周辺景観とのバランス）。 ・周辺の優れた景観特性を乱していないか。 ・過剰に目立っていたり、雑然としていたり、周辺に景観阻害感を生じていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 基調色 	✓	基調色はベージュ系とし、低彩度の色彩計画としている。
			<ul style="list-style-type: none"> ② おおまかな形状 	✓	建築物の一部を雁行配置とし、単調な印象とならないよう配慮している。
			<ul style="list-style-type: none"> ③ 主要な付属物 屋上設備 屋上階段 ベランダ等 	✓	屋根形状は勾配屋根とし、屋上設備や屋上階段は設けない形状計画としている。
			<ul style="list-style-type: none"> ④ 特殊な材料 (金属やミラーなど) 	✓	過剰に目立つような特殊な材料は特に使用していない。
近景	<ul style="list-style-type: none"> ●隣接する建物との関係や通りの雰囲気がわかる距離 ↓ ディテールを評価 <p>(目安 50m程度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小景観と調和しているか（通りの雰囲気と建物のデザインとの関係）。 ・通りの雰囲気を悪い方向に乱していないか。 ・商店街や住宅地といった通りの性格や将来計画に照らし合わせて適切なデザインか。 ・建物の立つ場所の特性（交差点に面するなど）に配慮しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 壁面意匠 ファサード意匠 側面の仕上げ 壁面設備 	✓	道路に面する外壁には木目調の縦型ルーバー等自然系素材に類する材料を使用し、周辺環境に配慮している。
			<ul style="list-style-type: none"> ② 看板類 	✓	外壁面に一部サインを計画しているが、屋外広告物条例に適合して計画とする。
			<ul style="list-style-type: none"> ③ アクセントカラー 	✓	外壁の一部に明度の低い色を使用する計画予定だが、規定値の範囲内での使用とする。
			<ul style="list-style-type: none"> ④ 低層部の雰囲気 	✓	低層部は外構緑化計画と相まって周辺環境に配慮した計画としている。
			<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 敷地利用 (緑化など) 	✓	建築物をセットバックさせ、出来るだけ緑地を施して景観との調和を図っている。
地點	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺の公共空間（前面道路の歩道など）との関係がわかる距離 ↓ 道路際の造作を評価 <p>(目安 10m前後)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●前面の公共空間と調和しているか（道路際の雰囲気）。 ・道路敷が雑然としていないか。 ・地区固有の行事などに支障はないか。 ・前後の歩道の雰囲気を乱していないか。 ・その他、圧迫感や歩きにくさを感じさせるようなところがないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 低層部のディテール・意匠・材料・構造 	✓	建築物を前面道路から 30m 以上セットバックした配置とし、外壁に木目調のルーバーを使用することで、圧迫感を感じない様配慮している。
			<ul style="list-style-type: none"> ② 敷際のデザイン 敷地の舗装 緑化状況 駐車場の見えなど 	✓	前面道路には歩道は無いが、道路際には低木を中心とした植栽を施し、周辺の雰囲気を乱さない様配慮している。